

業界全体としてはやや落ち着きを取り戻す 開発需要は業種により大きく異なる

株式会社ビーブレイクシステムズ

ビーブレイクシステムズが様々な現場で感じたシステム業界における現在の景気動向を、現場目線で定期的に発信します。

【システム開発全般について】

先月末ごろまではシステム開発現場では、プロジェクトの中止・縮小が大幅に増えていましたが、今月に入りプロジェクトの中止の件数は少なくなり、全体としては落ち着きを取り戻してきた印象を受けます。中には、先月の時点で社会全体の景気動向と自社を取り巻く環境を鑑みていったんプロジェクトの中止を決めたものの、今月に入り一転して継続することを決定するというケースも散見します。

このように業界全体的には落ち着きを取り戻したものの、ユーザ企業がシステム開発を依頼するのは、大手や既取引のある Sier に限るといった話もお聞きいたしますので、システム開発会社の二極化が進んでいるようにも感じます。前回のレポートでも記載した景気の低迷による信用リスクの増大の影響がここにも表れているのではないのでしょうか。

技術者に関しては、大きく需給の状況は変化しておらず、プロジェクトリーダー（PL）やシステムエンジニア（SE）の需要は引き続き堅調ですが、プログラマー（PG）の需要は低迷しています。プロジェクトの中には、案件の縮小に伴い PG（特に初級レベルの PG）を削減する状況も一部発生しているようです。また技術者の受け入れに関して慎重な企業・現場も多く、回答を保留する期間が長くなる傾向にあります。技術者に関して他に特徴的なことは、携帯の組み込みやネットワーク系のエンジニアの需要が激減しており、スキルチェンジを図る技術者も増えているように感じます。

【個別業界のシステム開発状況について】

業界によりシステム開発需要・姿勢に大きく差が生じている印象を受けます。

インターネット系の企業に関しては、サイトの運営自体については、景気の影響をほとんど受けていないようで、更なるサイトの拡張などのシステム開発需要が伸びています。

しかし製造業に関しては、昨今の景気の影響が直撃しており、引き続きシステム開発需要は低調です。システム開発を行っている場合でも、更なるコスト圧縮が求められており、厳しい状況が続いています。

株式会社ビーブレイクシステムズ 会社概要

住所：〒141-0031 東京都品川区西五反田 2-19-3 五反田第一生命ビル

設立：2002年7月

資本金：6,000万円

代表取締役：白岩次郎

事業内容：戦略的業務管理システム「MA-EYES」等のパッケージ販売や、システムの受託開発。

URL：<http://www.bbreak.co.jp/>

【本レポートに関するお問い合わせ先】

株式会社ビーブレイクシステムズ 担当：木塚、岡部

TEL：03-5487-7855 / FAX：03-5487-7855 / E-MAIL：info@bbreak.co.jp